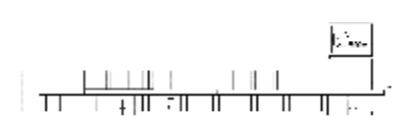


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 万代松原上田店新築工事	階数	地上2F
建設地	松原市上田二丁目	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	3,800 人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,680 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2019年10月1日
敷地面積	6,601 m ²	作成者	東西建築サービス株式会社 植:
建築面積	3,527 m ²	確認日	
延床面積	3,555 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	リサイクル材の使用や分別、またODP=0.01未満かつ、GWPが低い発泡剤を用いた断熱材等を使用し、環境負荷の低減に配慮している	その他 特に無し
Q1 室内環境	開口部において高い遮音性能を有している	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し
LR1 エネルギー	BPI=0.87/BEI=0.78	LR3 敷地外環境 自転車の利用及び駐車場の確保がなされている
Q2 サービス性能	広さ感や階高のゆとりなど機能性及び対応性に配慮している	
LR2 資源・マテリアル	躯体材料以外においてリサイクル材の使用をしており、また躯体と仕上材が容易に分別可能となっている	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0097

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)万代松原上田店新築工事					
		建設地	松原市上田二丁目					
		用途/区分	物販店					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					3		
③	建物の断熱性					4		
④	エネルギー削減					3		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容			スコア	評価		
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.8	4		
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3		
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			4.3	4		
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			3.4	3		
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
その他								
		技術の名称	考慮事項					
先進的技術の導入								
特に配慮した事項		特に無し						